

健康と光線

とよあしはらのみずほのくに
豊葦原 瑞穂国

昭和10年生まれの私の子供時代、日本は先進工業国としては今一でしたが、太陽光線と水の恵みを存分に受けた自然があり、葦が生い茂り、瑞々しい稲穂が実る、豊葦原瑞穂国と美称で呼ぶにふさわしい光景が残っていました。日本人は皆、太陽光線と水の恵みに感謝し、子供たちが外で真っ黒に日焼けして遊んでいても気にも留めませんでした。

今では豊葦原瑞穂国と呼ぶこともなくなり、日本人も大きく様変わりしたように思います。今や生命科学とは医学であり健康産業であると、人為的なものを優先する風潮が支配的になり、ヒトと呼ぶ動物を含めて自然の摂理にしたがって生きているこ

とを軽んずる傾向が強まり、中でも太陽光線の紫外線たたき之恩を仇で返す感すらあります。
太陽光線に紫外線があつて生命がある

自然生態系が

循環するためにはエネルギーが必要ですが、エネルギーは循環しませんので、太陽光線の光エネルギーで補給するしかありません。

生命循環で述べれば、動物が生きたるために必要なエネルギーと酸素は、植物が光エネルギーを化学エネルギーに転換する光合成に負っています。なお蛋白質を作る窒素同化作用には、植物が生命体の有機物を再利用できるように分解する微生物

太陽こそ生命の源

—自然の摂理に反する紫外線たたき—

サナモア光線協会 サナモア中央診療所

医学博士 宇都宮 光明

オゾン層の破壊

これまで本誌で紫外線についてさまざまな観点から必要性を記述してきましたが、今の世の中、殊更に紫外線の害を強調する話が大勢を占めています。特に不燃性安定で分解しにくい特性がある人工化合物で、噴霧剤、冷媒、溶剤として広く使われたフロンが成層圏にまで拡散し、地球の宇宙服に喩えられるオゾン層を破壊し、地上に到達する短波長の紫外線を増やし、皮膚癌の増加、生態系の破壊をもたらす、として大きな社会問題になってから、紫外線は危険で無用なもの扱いが目立つようになりました。確かにオゾン層の破壊は人類が犯した大きな過ちですが、フロンの使用を禁止にしてもオゾン層は直ぐには元に戻りません。だからと言って、紫外線の必要性を否定するのは、太陽と生命との関わりを否定する筋違いな話で

す。生命は紫外線の恩恵を受けて生きているのが自然の摂理に適い、健康面で多大な恩恵に浴せると考えるべきです。

紫外線の害を防ぐ神秘的な能力

紫外線を防護する商品群が巨大市場を形成するのと軌を一にして、時流に敏感な皮膚科医や美容専門家による行き過ぎた紫外線たたきがひどくなったように思います。その際たるものは紫外線の効能には一切触れずに皮膚癌になると脅すことですが、日本人の患者は殆どいません。それは日本人が黄色人種であり、かつ紫外線による皮膚癌を防ぐ修復酵素を紫外線が活性化し、生命が進化の過程で存分に紫外線の恵みを受けるために獲得した正に神秘的としか言いようがない光回復と呼ぶ能力があるからです。他事を挙げれば、酸素を必要としない嫌気性菌を除くすべての生物が活性酸素を無毒化するSODと呼ぶ酵素を持つように、生きるとは自然環境に適応し害を防ぐ能力が備わっていることなのです。

一病息災

一病息災

めまい・耳鳴り

サナモア光線治療院

院長 医学博士 宇都宮 正範

めまいや耳鳴りは、日常的に経験する代表的な症状の一つです。例えば、椅子から急に立ち上がった時に目の前が真っ暗になる、高層ビルのエレベーターに乗った時に耳の奥がキーンとなるといったようなことは、誰もが一度は経験したことがあると思います。しかし、このようなケースはあくまで一時的で、心配するには及びません。普段の日常生活において、めまいや耳鳴りを慢性的に認める場合、病気として問題となり、近年、このような症状で悩む人は増加傾向にあります。実際、厚生労働省の国民生活基礎調査でも、めまいや耳鳴りを訴える患者数は、人口千人あたり、めまいが20・4で、耳鳴りが26・8にのぼり、65歳以上の高齢者に限定すれば、各々40・9、65・6とさらに高くなるのです。

めまい・耳鳴りはなぜおこる？

人が生活するには、身体のバランス感覚はなくてはならないものですが、めまいは、身体の平衡バランスが悪くなった状態

であり、左右の均衡が保てずに一方に偏ってしまう状態です。人の身体には平衡バランスを保つための複雑な装置が備わっていますが、視覚や内耳前庭からの情報を、脳幹を介して中枢前庭系（主に小脳と大脳）が統合分析することにより、平衡バランスを保っています。めまいは、このシステムのどこかに障害が発生した時におこります。次に耳鳴りですが、その原因については、まだ分かっていません。ただし、耳鳴りを訴える人の多くが、何らかの程度の聴力障害

表1：内耳性めまいをおこす病気

炎症	内耳炎、ラムゼイ・ハント症候群
血管障害	内耳循環障害
腫瘍	聴神経腫瘍
中毒	抗生物質（ストレプトマイシン）
原因不明	メニエール病、突発性難聴

表2：耳鳴りをおこす病気

外耳	外耳道炎、外耳道狭窄
中耳	耳管狭窄症、真珠腫性中耳炎
内耳	メニエール病、突発性難聴
中枢聴覚路	聴神経腫瘍、脳梗塞
その他	心因性、更年期障害、薬物中毒

を有することが多いため、聴覚系に異常を生じた時に耳鳴りが発生することは確かです。しかし、なぜ音のないところに音の感覚が発生するのか、そのメカニズムは全く謎なのです。

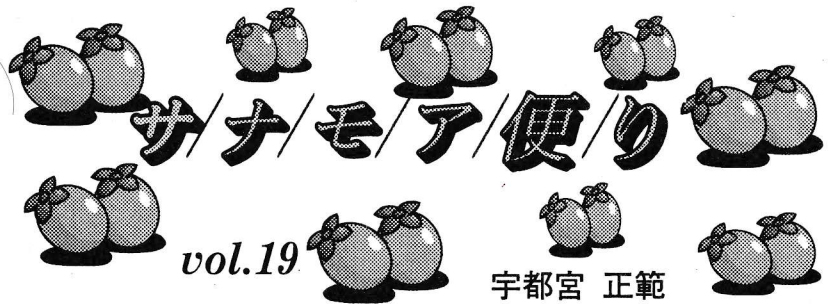
めまい・耳鳴りを おこす病気

めまいは、内耳が原因となる場合が最も多く（表1）、症状は、発作性で、耳鳴り、難聴などの症状を伴うこともありま

す。また耳鳴りには、音源がどこにもなく、自分にしか聞こえない「自覚的耳鳴り」と身体のだどこかに音源があり、他人も聞くことのできる「他覚的耳鳴り」の二種類がありますが、ほとんどが前者で、外耳、中耳、内耳そして音の情報を受け取って処理する脳までのどこかに異常があるとおこります（表2）。

めまい・耳鳴りに 対する光線療法

めまいと耳鳴りについて簡単に述べましたが、このような症状でお悩みの方は、多いことと思います。長年通院して投薬を受けても、一向に改善しないといったご相談もよく受けます。季刊誌「健康と光線」の紙面上にも、メニエール病や突発性難聴に対して、光線療法が著効を示した症例の報告がなされていますが、内耳を中心とした病気に対しては、局所の血液、リンパの循環を改善するとともに、自然治癒力を高めるサナモア光線療法が有効ですので、お悩みの方は是非一度お試し下さい。



vol.19

宇都宮 正範

第九期

サナモア光線治療師

養成講座を東京にて開講

第九期サナモア光線治療師養成講座を、五名の参加者を迎え、七月に東京において開講しました。今回は、猛暑の走りのなか



でしたが、参加者同士でホットな意見交換が行われ、とても和やかな雰囲気で行われました。今回、治療師認定を受けられた方々をご紹介します(写真)。

治療師認定者

川口 一憲(神奈川県)、櫻

井 悦子(明石市)、岡田 裕

子(所沢市)、長谷 英史(八

戸市)、藤田 恒子(裾野市)

第十七回

「光と熱研究会」の

お知らせ

医療に関連した話題の講演や

治療例の報告を中心とした研究会を開講していますので、一般のご愛用者の方も是非ご参加下さい。なお参加は無料です。

日 時：十月十六日(土)

午後二時三〇分

場 所：サナモア光線治療院
三階会議室治療院&
治療師紹介

このコーナーでは、光線治療院を開業され御活躍中の先生方や、光線治療師の資格を取得され、光線療法の啓蒙・普及活動に携わっている先生方をご紹介します。

光線とともに

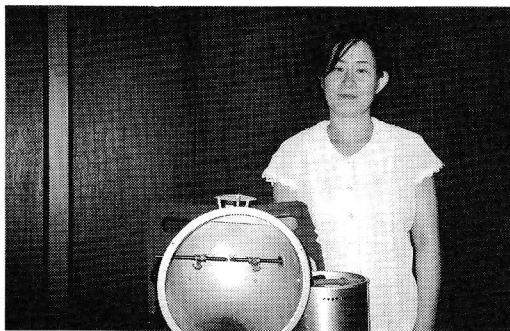
北島三央 光線治療師

住所：福岡市南区西長住

二一八一二七

電話：〇九一五六一一四八六

昔から、薬に頼らず様々な病気を自然に治療したいという気持ちが強かったため、幼い頃から



北島三央先生

ら家にあつたサナモアの勉強をしてみたくて、サナモア光線治療師の募集広告が出るとすぐに

◆ 募 集 ◆

サナモア光線治療師

当協会の趣意に賛同され、サナモア光線療法の普及にご協力頂ける方、治療院の開業を検討なさりたい方は、お問い合わせください

〒153-0063

東京都目黒区目黒1-23-11

TEL (03) 5759-3710

FAX (03) 5759-3720

申し込みました。光線治療師の資格を取得してからは、光線療法について書かれた書物を参考にし、より良い治療法を目指し研鑽を積んでおりますが、私の家族や親戚には、サナモアを手放せず、ほとんど毎日のように使用している方が多く、治療法をアドバイスしております。現在は、まだ、治療院の開院には至っておりませんが、可能な限りの治療を行っており、サナモア光線治療器やカーボンをご購入頂いた方を対象として、電話での相談を受けています。

治験例報告

光線療法で塵肺に伴う

呼吸器症状が軽快

神戸市 ウエノ光線療研

上野 健太郎氏報告

症例 81歳 男性

症状 昨年の一月、突然動悸と息切れを自覚し、市販薬を内服するも改善せず、近医を受診したところ、精査加療目的で入院となり塵肺の疑いを指摘された。

昭和三十年代に新幹線建設工事がたけなわの頃、橋梁建設作業員として従事していたが、当時は防塵マスクなど使われていない状態で八年程働いた。最初の病院では、医師から塵肺が五十年を経て発症することはない、普通は長くて二十年程度なので、今回の症状は加齢が原因との説明を受けたが納得できず、他院を受診。一時は甲状腺疾患も疑われて検査を受けたが異常なく、結局、右肺の組織検査を施行して塵肺と診断された。しかし、塵肺は未だ有効な治療法がないとの説明を受けたため、サナモ

アを以前から使用していた妻の勧めで、数日間使用したところ、大変調子が良く、呼吸器症状も緩和されたため、本格的な治療を受けるために来所した。

療法経過 治療はADカーボンで、集光器を使用し、鼻10分、喉頭部および後頭部に各20分照射してから、背部30分、腹部10

分照射。次にABカーボンで、腰部20分、膝10分、足裏20分の照射を施行した。自宅での治療は、同様の方法にて行い、一日に二回照射する際には、ADカーボンとABカーボンを交互に使用するよう指示。一か月後に来所した際には、最初に比べ明らかに顔色が良好になっており、今までは、駅の階段を上るのに、一度か二度は必ず足を止めて休んでいたが、休まずに上れるようになり、動悸や息切れの頻度も軽減したと喜んでいただ。その後の経過も良好で、二か月後には、散歩や日常の軽労作後に息切れで苦しむことがなくなり、

治験例報告

歯槽膿漏の治療に

光線療法が著効を示した

福岡県春日市 育美健康光線療研

山崎 いく子氏報告

症例 45歳 女性

症状 サナモア愛用者の方です。食後に歯茎に付着した食べかすを楊枝でかき出した後から、歯

茎が腫れて、痛みが強くなったため、歯科医院を受診したところ、細菌感染が認められ歯槽膿漏と診断された。ここでは切開

光線療法を続ければ、もっと良くなるという自信がついたとのことであった。

(TEL078-1131135)

排膿を行い、約二週間、通院し治療を継続したが、痛みも消失せずに腫れもひかないため、光線療法で治したいと電話で相談を受けた。

療法経過 治療はBCカーボンにて、三号集光器を使用して、ガラス管を口にくわえて、患部の歯茎に対して一時間以上、痛みが軽くなるまで続けるように指示した。その他、基本照射として、ABまたはBDカーボン

サナモアカーボンの類似品にご注意下さい

サナモアA(緑印)、B(赤印)、C(青印)、D(黄印)カーボンは、その使用法を書いた著書「光線療法学」ともどもご愛用者各位の御信頼を戴き、全国津々浦々まで高い評価を受けておりますことはご存じの通りです。

ところが他社製カーボンに「光線療法学」をセットしたり、当研究所が独自に広めたカーボンの呼び名のA、B、C、Dや緑印、赤印、青印、黄印を勝手に流用したり、あたかもサナモアと同じと見せ掛けて販売している業者がいます。もとより、このような道理にもとる人をあざむく行為は断じて許されるものではありませんが、当研究所としては他社製カーボンを使用した場合の効果について一切の責任は持てませんので、呉々もご注意下さい。

なおカーボンについて疑問の点がありましたらお問い合わせ下さい。

株式会社東京光線療法研究所

で、足裏、腹部を各20分照射するよう指示した。その後、数日から再度、連絡を受け、治療開始当日から、血液の混入したどろどろした膿が排出されてきて、現在は腫れもひいて、痛みも消失したとのことであった。まだ、完全に治ったわけではないので、さらに治療を続けるように説明したが、数週間後の連絡では、すっかり良くなり、歯科医院での検査でも完治していると言われたと大変喜んでいただ。

(TEL092-58112039)

五七二一五七三

治験例報告

光線療法で肺腫瘍、卵巣のう腫、
リウマチの治療に成功

川崎市 東京光線治療院

海渡 一二三氏報告

症例 62歳 女性 主婦
症状 胸部レントゲン検査とCT検査により右肺中葉に径1cmの腫瘍を指摘され、明らかな転移を認めないが、良性、悪性の判定が困難であるため、病院の医師からは手術を勧められた。また、患者は以前から、卵巣のう腫とリウマチを合併しており、併せての治療を希望されて来所した。

もサナモアを購入し、右胸部を中心として、毎日約3時間の照射を施行。平成8年11月から平成9年10月まで、ほぼ毎日光線治療を施行したところ、検査で、

腫瘍は大きさに変化が見られず、石灰化したとの説明を受けた。さらに、リウマチ反応も陰性化して、卵巣のう腫も治ったと報告を受けたため、当院での治療は終了し、自宅での治療のみとした。平成16年4月に、久しぶりに来られた時には、非常に元気な様子で、胸部レントゲン検査でも、ほとんど痕跡が判別できない程度にまで改善したと言っており、喜ばれていた。
 (TEL04四七三二五〇六七)

治験例報告

腰椎椎間板ヘルニアが

25回の治療で治った

福岡県 森川嘉文整体院・太陽光線療法院

森川 嘉文氏報告

症例 23歳 女性 学生
症状 約一か月前から腰痛を自覚していたが、徐々に痛みは増強し、左下腿外側のしびれと左足母趾の感覚障害も認めため、腰のMRI検査を受けたところ、

しかし、手術を避けたいとの希望で、親戚に紹介されて来院したが、初診時には、歩行も困難で、左足母趾も背屈できない状態であった。

第3腰椎以下の2か所に椎間板ヘルニアを指摘され、医師から手術を受けるよう説明された。

療法経過 光線治療器3台を用い、側臥位にてABカーボンで、足裏、膝、腹部、背部、大腿後面、左臀部、後頭部、顔を

各10分照射。さらに、AAカーボンにて左足母趾を20分、ABまたはBBカーボンで腰部を30分照射後、仰臥位にて、AAまたはABカーボンにて、左下腿外側に20分の照射を基本として行った。腰痛が改善しなかったため、6回目からは、大腿後面をBBカーボンに変更し、左臀部はABカーボンのままで照射時間を20分延長した。また腰部はABカーボンで30分照射後、BDカーボンに変更し、集光器を使用し30分の照射を加えた。10回終了後から、左下肢のしび

れが痛みに変わってきたが、神経が回復してきた証拠であると説明。15回終了頃には左下肢の痛みは軽快し、左足母趾の感覚も正常に近くなり、左足母趾に力が入るようになった。20回目からは、腰部はBBカーボンのみで30分照射したが、この頃には、腰痛も消失。患者は福岡を離れることとなり治療は25回で終了したが、MRI検査の結果、著明に改善を認め、光線の効果に感嘆されていた。
 (TEL0九二五〇一三五八二)

全自動光線治療器
はつらつさんと
ジョイントカーボン

サナモアはカーボンの芯剤を完全燃焼させることで最も効果のあるスペクトルを含む光線を放射するように、正面からカーボンをぶつける正面

自動光線治療器はつらつさんで、照射時間は5分刻みで60分まで設定でき、時間に合わせてジョイントでできるサナモアカーボンをつないでおけば、自動的にカーボンを送り安定した光線を放射します。

なおはつらつさんご使用の際には、安全性を保ち、事故を未然に防ぐため、ジョイントカーボン以外のカーボンは絶対に使用しないで下さい。使用上の注意は、「はつらつさん取扱説明書」をご覧ください。

サナモア光線療法 体験記

夫婦ともどもサナモアを
愛用しています

熊本県 徳永良隆ご夫妻様

85歳の主人は糖尿病を患い、
たくさん薬を飲んでいて、ため
か時々お腹に痛みを感じます。
その時はサナモアのお世話にな
り私が照射して治しておりま
す。一昨年には、突然意識不明
になって倒れましたが、私はとっ
さに血液の流れを良くしたらよ
いのではない、足の裏、背中、
腰を照射しました。救急車も呼
ばず、病院にも行かずに光線を
照射したところ、意識が戻り、
動き出したので本当にびっくり
しました。今でも、その時何が

起こっていたのか全くわかりま
せんが、その後、主人はすっか
り元気を取り戻し、日々を過ご
しております。最近では、時々
胃、肝臓、腹に痛みを生じるこ
とがあり、その都度、照射して
おります。

次に私のことになりますが、
76歳です。やはり、身体のおち
らこちらが痛くなりますが、病
院には行っておりません。今は
肌がかサカサになり、頭の前の
方が痒くなることしばしばあ
るので、照射していますが、痒
みが和らぎ安心しております。
また、一昨年には私も全身の骨
や関節が痛くなり立てなくなっ
てしまいました。サナモアで
全快しました。私はもう26年サ
ナモアのお世話になっていま
す。サナモアにはいつも驚かさ
れ、初めて知ることばかりです。
そして、昨年の暮れには、息子
もサナモアを購入しましたので、
これで四台になりました。これ
からも、愛用し続けたいと思っ
ておりますので、今後ともよろ
しくお願い致します。

サナモアのお蔭で

元気に暮らしています

神戸市 ○田 ○柴様

サナモア光線には長くお世話
になっております。私は今年86
歳になりましたが、お蔭をもち
まして、元気で楽しく暮らして
おりますが、これも光線のお蔭
と感謝しております。五十年間
書道教室を営み、今日では自適
の生活です。どうもありがと
うございます。感謝いたしてお
ります。

サナモア体験記募集

サナモアの効果は体験し
ないと信じられないところ
がありますが、実際に効果
を体験した体験記ほど説得
力のあるものはありません。
ついては体験記をお送りく
ださいますよう、お願いい
たします。
なお掲載させて頂いた方
には、薄謝を贈呈致します。
(匿名を希望の方はその
旨付記して下さい)

サナモア



Senamo

サナモア光線協会

趣意書

サナモア光線協会は、太陽光線こそ健康
を増進する自然の恵みの源泉であり、生命力
を高めて病気の予防、治療に効果がある
との観点に立ち、太陽光線に近似したフル
スペクトル光線を放射するサナモア光線療
法の啓蒙、普及活動に努めることで、国民
の健康、福祉に貢献します。

サナモア光線協会は、サナモア光線療法
に対する認知と評価を高めるため、
一、季刊紙、「健康と光線」の発行
二、サナモア光線治療師の募集と育成。
の事業を行います。

サナモア光線協会

医学博士 宇都宮 光明

「健康と光線」の購読者を募集します。
また事業の詳細はお問い合わせ下さい。

〒153-0063 東京都目黒区目黒4-6-18

サナモア光線協会TEL(03) 三七九三二五二八
三七二二一五三三二

(本紙の無断転用を禁止します。)